

## 幸兵衛窯 新作展

幸兵衛窯は、文化元年(1804年)初代 加藤幸兵衛により、美濃国市之倉郷にて開窯され、まもなく江戸城へ染付食器を納める御用窯となりました。

流麗精緻な染付の優品を手掛けた二代、中国宣徳染付の研究に没頭した三代、名人気質の四代の後を受けた、五代 加藤幸兵衛(1893~1982)は、中国陶磁をはじめ幅広い技法を駆使した名品の数々を生み出し、幸兵衛窯の礎を築きました。

六代 加藤卓男(1917~2005)は、長年の研究を経て、幻のペルシャ陶器 ラスター彩や正倉院三彩を復元し、これらの功績により人間国宝に認定されました。

現当主である七代 加藤幸兵衛(1945~)は、父 卓男のペルシャ陶技を継承し、現代感覚溢れる作品を制作しています。

八代 加藤亮太郎(1974~)は、美濃桃山陶の伝統に立ち向かい、穴窯焼成による茶盃の制作に力を入れています。

現在、幸兵衛窯は七代 幸兵衛と八代 亮太郎の指導のもと、二十余名の熟練職人を擁して、品格ある和食器の制作を志しております。

2021年6月19日(土) ~ 7月15日(木)  
10:00 - 17:30(会期中無休)

開窯200年以上の歴史を誇り、人間国宝の加藤卓男氏を筆頭に作家、作品を生み出し続けている美濃焼屈指の名窯『幸兵衛窯(こうべえがま)』の特集を開催いたします。

今回の展示では、ペルシア色絵・青釉・三彩の技法による、普段使いの器、インテリアとしての陶器・オーナメント、そしてアクセサリーに至るまで、幅広くご覧いただけます。

### ご来店に際して

お客さまの健康・安全を確保し、感染拡大を防止するため、店内ではマスクの着用をお願いします。また、ご来店の際は消毒液による手指の消毒をお願いします。なお、混雑状況等により、ご来店をお待ちいただく場合がございます。予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

### ガレリア織部 10:00-17:30 年中無休



〒507-0038 岐阜県多治見市白山町2-222  
TEL.0572-56-8830



## 幸兵衛窯

2021.6.19 | sat — 7.15 | thu

新作展





この度、ガレリア織部に於きまして、近況作品を  
中心として日常食器・インテリア・アクセサリーと  
幅広く展覧します。どうぞご高覧下さい。



01	02
	03
	04

1. 青釉銀彩透彫銘々皿
2. ペルシア金彩ゴウル
3. アラベスクスタイル陶額「福朗」
4. 特製日々茶箱